

# ろうさい かわら版

2023.1

vol. **64**  
新春号



◆ 新年のご挨拶 …………… P2

病院長代理 **小笠原 和宏**

◆ 認定看護師紹介 …………… P3

がん化学療法看護認定看護師 看護師長

**佐々木 祐美**

**特集①** ◆ 骨粗鬆症やがんの骨転移などで  
治療を受けている患者さんへ  
歯や歯ぐき、顎の骨の  
調子は大丈夫ですか？ P4・5

歯科口腔外科部長 **藤盛 真樹**

**特集②** ◆ 現代の医療に不可欠な医療機器の専門家  
臨床工学部の職務 …………… P6・7

主任臨床工学技士 **廣瀬 孝則**

◆ フォーカス …………… P8

看護部長 認定看護管理者 **金森 美香**

# 新年のご挨拶

## 病院長代理 小笠原 和宏

おがさわら かずひろ

新年明けましておめでとうございます。令和の時代も5年目となり、皆様には穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。地域の皆様に支えられ、釧路労災病院は今年も無事に新しい年を迎えることができました。誠にありがとうございます。

西暦で言うと2020年に始まったコロナ禍は、いまだに終息の兆しが見えず、昨年も当院を含む多くの医療機関がクラスター発生の憂き目を見ました。その際に実感したことは、医療は健全な状態の医療人によって支えられているという当たり前の事実でした。どんなに立派な設備があっても、それを使う人間がいなければ仕事は成り立たない。マンパワーがいかに重要であるかを再確認させられました。今年度、当院は「病床数を削減して相対的にマンパワーの充実を図る」という大きな決断をいたしました。増加し続ける外来化学療法や術後ケアなど、人手の必要な医療に対して「質を落とさない」ための覚悟とも言える計画です。

同時に、地域医療を守り抜くためには、病院やクリ



ニックがいざという場合に補完し合うシステムが重要であることが明白になりました。この地域にひとつしかない診療科や医療機器が、新型コロナのために使えなくなってしまうと、地域の患者さんは頼る場所を失ってしまいます。当院では、無菌治療室やHCU（高度治療室）の拡充、ロボット手術装置等の導入を進め、診療機能の充実を図ります。そのためにも、地域の若い力が医療という仕事に関心を持ち、共に働いてもらえるような病院になりたいと願っています。

普段からどんなことでも相談に乗っていただけるかかりつけ医師や薬剤師を持ち、困ったときには信頼できる病院に紹介していただけるシステム。理想的な地域医療環境の中で、住民の皆様から選ばれる病院であるために、当院は努力し続けます。本年も、さらなるご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

## 釧路ろうさい病院の理念

最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

### 基本方針

1. 安全で質の高い医療を実践します。
2. 患者さんの権利を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を実践します。
3. 透明性の高い医療を実践します。
4. 地域住民と勤労者の健康づくりのために、予防医療を実践します。

### 臨床倫理方針

1. 患者さんの人権を守ります。
2. 患者さんの自己決定権を尊重します。
3. 生命倫理に関する法律及びガイドラインを遵守して診療を行います。
4. 患者さんの信条や生命の尊厳に関する問題については審議を行い、治療方針を決定します。
5. 患者さんのプライバシーを遵守し、個人情報の保護を徹底します。

# 化学療法看護 認定看護師としての 活動を振り返り



がん化学療法看護認定看護師  
看護師長

ささき ゆうみ  
佐々木 祐美

「がん化学療法看護」分野は、がん薬物療法薬の適切な投与管理や、副作用の緩和及びセルフケア支援を主として活動しています。

資格を取得した2007年、北海道内9名だったがん化学療法看護認定看護師は、2021年12月では101名が従事しています。2007年当時、抗がん剤治療は入院から外来に移行し各病院が外来化学療法室を整備し、抗がん剤治療を受ける患者さんが仕事、家事を自分の生活を続けながら治療を受けられるように支援が始められた頃でした。

当院でも例外なく外来で抗がん剤治療を受ける患者さんがいました。しかし、まだ抗がん剤治療を専門で行う部署はなく、各診療科の外来(外科・内科)で点滴治療を行っていました。抗がん剤治療を受ける方は1日2-6人程度でしたが徐々に人数が増え、処置室のベッドがすべて抗がん剤治療をする方で埋まってしまうこともしばしばありました。その後、抗がん剤治療部門を開設し、患者さんが来院された時点で体調の確認と面談を看護師が行い、専門の薬剤師が抗がん

剤の混注を行う体制が整備され、今の4階の化学療法センターに移設しました。現在センターでは約550件以上/月の化学療法を行っています。

当院のがん化学療法看護認定看護師は現在3名となり外来と病棟に在籍しています。がん化学療法看護認定看護師は、がんの診断や治療開始または再発時の医師の説明を受ける面に同席し、患者さんとご家族が納得して意思決定できるよう支援しています。抗がん剤治療は、がんの根治、延命、症状緩和などの目的があります。その治療には期待する効果だけでなく副作用がついてきます。初めて治療を受ける患者さんは副作用に対しての漠然とした不安や髪がぬける、吐いてしまう等大変といったイメージを持たれている方が多いです。抗がん剤の種類は多くすべての薬剤がそのようになるわけではないこと、使用する薬剤に応じて具体的にどのような時期に出現しやすいか、出現時の対応の説明を行います。また、血液疾患の方は特に免疫が低く感染症を生じやすくなります。そのため治療前から患者さん自身で感染予防ができるよう患者さんに合わせた感染予防ができるよう支援しています。

治療の進歩により化学療法の選択が広がっている反面、日常生活に影響を及ぼすこともあります。そのため病気の不安だけではなく多く不安を抱えながら治療に臨まれています。治療による副作用を最小限にできるように、すこしでも不安を軽減し、その人ひとりひとりが自分らしく生活できるように、患者さん家族への支援することが、私たちががん化学療法看護認定看護師の役割です。



# 骨粗鬆症やがんの骨転移などで治療を受けら 歯や歯ぐき、顎の骨の調



歯科口腔外科部長  
ふじもり まさき  
藤盛 真樹

歯科口腔外科では、口の中や周りの病気を治療しています。口は食べる、話すなど、楽しく生きていくうえでとても重要な機能を持っていますので、病気ができると、とても苦痛です。今回は、骨粗鬆症やがんの治療を受けられている患者さんに発症することがある、少し特殊な顎の骨の病気について解説したいと思います。

日本では50歳以上の女性の1/3が骨粗鬆症であり、がんは国民の2人に1人がかかる病気です。その治療に用いられるのが、骨吸収抑制薬（こつきゅうしゅうよくせいやく）です。脆くなった骨の骨折や、骨転移に伴う神経の痛み・麻痺などを予防してくれる、治療効果が高いお薬です。週または月に1回の飲み薬、半年もしくは1年に1回の注射薬があります。

この薬剤を使用している患者さんで、顎の骨が腐ってしまう「顎骨壊死（がくこつえし）」という病気を発症することがあります。具体的な症状は、「歯ぐきやあごの腫れや痛み（図1）」「下くちびるのしびれ」「歯ぐきに白色や灰色の硬いものが出てきた（図2）」「抜歯後の治りが良くない」「歯が自然に抜けた（図3）」などです。発症率は骨粗鬆症で0.1%、がんの骨転移でも1～3%と低いのですが、



予防のためには  
お口の状態を良好に  
保っておくことが  
大切です



れている患者さんへ

# 子は大丈夫ですか？



抜歯をしたり歯の状態が悪いまま放っておいたりすると、発症率が約10倍になります。また一度発症すると、とても治りにくく、入院して手術が必要になることや、治らずに顎骨壊死の状態が続くこともあります。



図1: あごが腫れて皮膚に膿の出口ができています



図2: 歯ぐきから露出した骨



図3: 歯が自然に抜け骨が見える

当科は顎骨壊死の予防と治療の研究に、北海道内の中心となる施設として参加し、その知識と経験は豊富です。具体的には2013年から北海道内の病院にある歯科口腔外科26施設で共同研究を行い、それらの結果を専門の学会や学術論文として発表してきました。その結果もあって、釧路根室管内からも多くの紹介患者さんが来院するようになり、骨粗鬆症では主に整形外科や内科、がんの骨転移ではほぼすべての診療科、さらに近隣の病院や歯科医院と連携して患者さんに対応しています。

顎骨壊死において重要なことは、まず予防です。骨吸収抑制薬を使用する予定があれば、あらかじめ歯科医院や病院の口腔外科を受診し、診察と治療を受けることが大切です。すでに投与されている患者さんでも、できるだけ早期に抜歯を含めた治療を行うことや、口腔内を清潔に保つことにより、発症リスクを少なくすることができます。顎骨壊死を発症してしまった場合にも、適切な診断と管理を行うことで、手術を避けることができる場合も多くあります。また、手術が必要と判断した場合でも、早期に手術を計画することで、顎の骨への影響を最小限にできます。

顎骨壊死を疑う症状が出現した場合には、かかりつけの医師、近隣の歯科医院や病院の口腔外科に連絡して診察を受けてください。

現代の医療に不可欠な  
医療機器の専門家

# 臨床工学部



「臨床工学部」の紹介をする前に「臨床工学技士」の話をしていきましょう。部署紹介を兼ねて「臨床工学技士」をご理解いただくと幸いです。

「Clinical Engineer:臨床工学技士」私たちは多くは知られていない存在です。よくある医療ドラマにも役は充てられていないでしょう。しかし、私たちは現実には多くの病院に存在し、そして臨床の現場に従事しています。

みなさんが病院にかかり検査や治療をするとき、大小様々な医療機器を目にするでしょう。体を診るもの、調べるもの、そして治療するもの。一体これはどんな時に使うのだろうと想像もつかないものまで。もしこれら機器が壊れていたら?正しく使われていなかったら?どうなるでしょう。これら機器たちを把握し、皆様に適切な医療を提供できるよう私たちは働いています。



# の職務

主任臨床工学技士  
ひろせ たかのり  
廣瀬 孝則



当院の技士は8名。それぞれが色々な場所で色々な役割を担っています。血液浄化センター、手術室、内視鏡室、高気圧酸素治療室、医療機器管理センター、さらに人工呼吸器やアフレーシス(透析以外の血液体外循環治療)業務など、各人が業務を全うしています。

私たち技士が直接患者様の目に触れる場面はあまりありません。もし医療機器に目がついているとしたら、常に私たちは機器を通じて患者様を見ています。機器を操作する医療者が、安全かつ安心して使えるように。日本に「臨床工学技士」という国家資格が制定されて35年になります。

法律ではこう定められています。「診療の補助として生命維持管理装置の操作及び生命維持管理装置を用いた治療において当該治療に関連する医療用の装置の操作として厚生労働省令で定めるものを行うことを業とすることができる」と。

トラブルや  
緊急対応には、  
24時間対応できる  
体制となっています



医療は一人では成り立ちません。チームです。今や様々な医療職種の中の一員として私たちは医療の現場に携わっています。特に、当院の特徴である地域がん診療拠点病院としての治療に関わる部分は多くなってきています。日々アップデートされる診療に係る機器の情報や管理、また操作において皆様目に触れることなく、日々臨床の現場で適切な医療を提供できるよう邁進しています。

病院で働く職種を思い浮かべてみましょう。医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、…。“臨床工学技士”思い浮かびましたでしょうか。

もし、みなさまとお会いできる機会がありましたら是非話しかけてみてください。私たちは常にスタンバイしています。

これを機に「臨床工学技士」の呼称を覚えていただけると幸いです。



# Focus!

Q.看護部長のお仕事について  
お聞かせください。



看護部長  
認定看護管理者

かな もり み か  
金森 美香



私をはじめて釧路労災病院に足を踏み入れたのは、内科病棟実習の時でした。緊張のあまり看護詰所にいることができず、患者様の病室がほっとする場所でした。実習指導者の看護師は、いつも実習記録に赤ペンで沢山のコメントを書いてくださいました。親身に指導してくれたナースに強い憧れを感じ、釧路労災病院へ就職を決めました。あれから数十年が経ち、2回の転勤の後、令和4年4月に看護部長として釧路労災病院へ戻ってきました。

看護部長というと、皆さんはどんな仕事をする人なのか？と疑問に思う方が多いのではないのでしょうか。病棟の管理は、皆さんがご存じとおり、看護師長が行っています。看護師長の業務のひとつに「ラウンド」があります。「ラウンド」とは、部署内を巡回し、看護の提供状況と患者の満足度を確認し、提供する看護の水準を保証・向上させることを目的として行われます。私達の仕事は、常に患者様への看護ケアの質を問われる仕事であり、その看護の質を保証し、向上させる努力をしなければなりません。そのため、看護師長が行う日々の「ラウンド」はとても重要です。

私は、患者様、家族の方、地域の方々が労災病院にきてよかったと思っていただく事を大切にしています。そのためには、患者様はもちろんのこと、職員にとっても病院内は安全で、安心できる場所であればなりません。そのため毎日、看護部長として「病院内ラウンド」をしています。療養環境や働く環境に危険や不具合な状況はないか、快適であるかという視点を持ち、「病院内ラウンド」を行います。その際には、看護師長やスタッフの話を聞き、改善点について一緒に考えたり助言をしたりするよう心掛けています。時には、患者様から直接、ご意見を頂くこともあり、「病院内ラウンド」を通じ対話する時間は、とても貴重で大切な仕事だと感じています。今後も、患者様を取り巻くすべての職員と協働しながら、看護理念である「人としての尊厳を守り、安全・安心・優しさのある看護の実践」を提供できるよう努めていきます。

患者も職員も元気になれる看護部づくりを目指し、今日も看護部長室から飛び出し、「病院内ラウンド」に出かけます！



独立行政法人  
労働者健康安全機構

 釧路ろうさい病院

〒085-8533 釧路市中園町13番23号  
TEL/0154-22-7191(代表) FAX/0154-25-7308

<https://www.kushiroh.johas.go.jp>

くしろろうさいびょういん 検索

